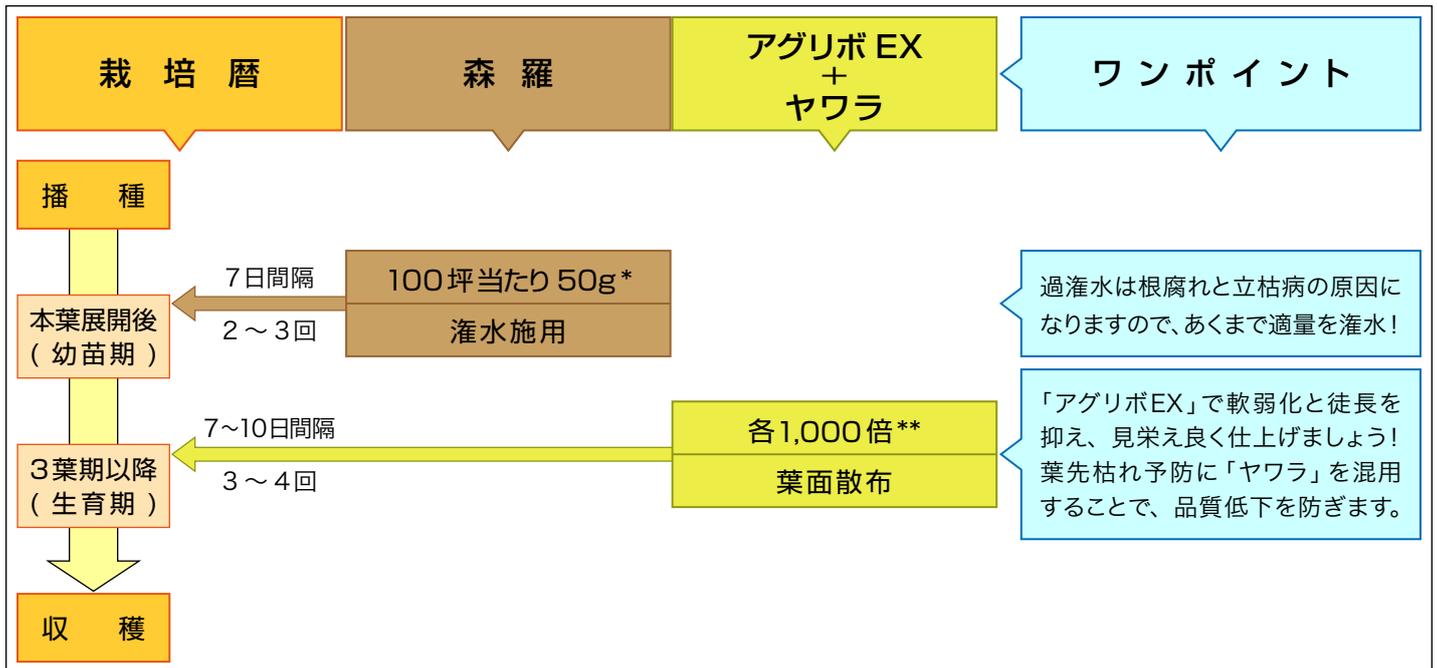


# 小ねぎ (直播)

## まずは「根作り」。次いで均一な生育を。

小ねぎ、特に直播栽培のポイントは、“いかに生育と収穫期を揃え良品率を上げるか”にあります。そのためには、まず生育初期に根量(根力“ねぎから”)を確保して、後半の生育を安定させることが重要になります。



\* または、100m<sup>2</sup> 当たり 15g

\*\* 散布液が付着しにくい品種の場合は、「ヤワラ」の希釈倍率は 500 倍に。

### 小ねぎは特に育苗重視!

根深ねぎに比べて生育期間の短い小ねぎは、より育苗期の根張りと徒長抑制が重要になります。りん酸の肥効を高めるためにも、育苗から「アグリボ EX」を使用して、根張りの良い苗作りを!

### 葉先枯れ対策に、ヤワラ!

乾燥や高温などにより、根からのカルシウム吸収が困難になり発生します。それからでは手遅れなので、小さい時期から「ヤワラ」を使って予防しましょう。(500~1,000倍希釈で、7~10日おきの散布)

天候不順が予想される場合、「アグリボ EX」の代わりに“光触媒”入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボ EX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、“展着促進材”(界面活性剤・トレハロース)入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ  
ご相談 **0120-187-183** 相談室

**AGREVO**

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528  
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328